

2022年度地域福祉ファシリテーター養成講座プログラム

	形式	場所	プログラム（11回+フィールドワーク）	日程
1回目	講義 演習	大学	講義「これからの社会福祉と地域福祉ファシリテーターの役割」 演習「自分が感じている地域の課題について考える」（関心別にグループ分け） 自己紹介と参加の動機の共有（講座開催前に把握したものを共有）	9月22日
2回目	講義 演習	大学	講義「自分の地域について知る方法と地域の社会資源について」 演習「自分の地域で役立つ社会資源を発見する」	9月29日
3回目	グループ 学習	大学	グループワーク（1）大学にて、各市別にグループ分け ・各市の地域活動を実践するうえで活用できる制度やサービスなどを知る ・地域の福祉課題について意見交換、他の市と比較し学びあう	10月6日
4回目	実践交流	大学	実践交流（1）「地域で展開されている活動を知る」 ～with/after コロナ禍での工夫や実態について現場の声を聞いてみよう～	10月13日
5回目	講義 演習	大学	講義と演習「地域でサポートするときの人との関わり方」	10月20日
			フィールドワーク（実際の地域活動への訪問調査）各市1団体 ・実際に各市で実践している地域活動を訪問調査（活動日以外も可） ・具体的な活動の際と工夫点や課題について学ぶ ・訪問して感じたことを簡単にフィールドノートに記入する	10月末- 12月初旬
6回目	講義 演習	大学	講義「地域の問題解決のためのニーズ把握の方法と計画の立て方」 演習「地域の福祉課題を考えよう」（各市別にグループ分け）	11月24日
7回目	グループ 学習	社協	グループワーク（2）各社協にて ・私が考える福祉課題とそれを解決するための地域活動について意見交換 ・プレゼン（グループ発表、一部個人発表も可）において意見をまとめる	12月1日
8回目	グループ 学習	社協	グループワーク（3）各社協にて ・私が考える福祉課題とそれを解決するための地域活動について意見交換 ・プレゼン（グループ発表、一部個人発表も可）において意見をまとめる	12月8日
9回目	グループ 学習	大学	グループワーク（4）大学にて ・プレゼン準備（他市の動向も知りながら、発表内容をまとめる） ・学生も各市のグループに参加し、パワポ作成などで支援することを促す	12月15日
10回目	グループ 学習 実践交流	大学	グループワーク（5）大学にて ・プレゼンにおけた最終準備 実践交流（2）：他の市の人や学生と学びの分かち合い ・ネットワーキング、これからの活動において考えていることを共有	1月12日
11回目	発表 修了式	大学	プレゼンテーション： 「私（達）が解決したい福祉課題と取り組みたい地域活動」 内容：どのような活動をどのようにしていきたいか、その中でどのような地域福祉ファシリテーターになりたいか、どのように地域を活性化していきたいかなど 修了式	1月19日

★開講時間は13:00-16:00

★基本は対面の学びを中心にするが、感染状況によってはオンライン対応。